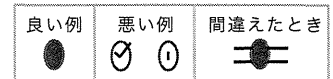


パイロット調査票(検診機関チェックリスト)

胃がん検診の実施体制について、貴施設に当てはまる状況を以下それぞれの設問に沿って下の①～④から1つ選び○の中を塗りつぶしてください。

記入方法：黒色のペンまたは鉛筆で、○の中を正確に塗りつぶしてください。



- ① 「実施している」：貴施設、もしくは外部機関※と協力して実施している場合。
(必ず外部機関に実施状況を確認して回答して下さい)
- ② 「実施していない」：貴施設、もしくは外部機関※のいずれも実施していない場合。
(必ず外部機関に実施状況を確認して回答して下さい)
- ③ 「わからない」：貴施設、もしくは外部機関※の実施状況を調査しても、実施の有無が確認できなかった場合。
(必ず調査をしてから回答して下さい)
- ④ 「回答できない」：設問の意味が分からない、あるいは設問の記述の曖昧さ等により、実施の有無が判断できない場合。

※外部機関：医師会、自治体（市町村、都道府県）、対がん協会等の専門機関

1. 受診者への説明

解説：(1)-(5)はいずれも、チラシ等、持ち帰れる方法で受診者全員に個別に行われている場合のみ、「①実施している」とし、ポスターや問診票など、受診者が持ち帰れない場合には、「②実施していない」とする。
市町村や医師会との共同実施（例：市町村や医師会が作成したものを配布するなど）の場合も「①実施している」とする。

	①実施している	②実施していない	③わからない	④回答できない
(1) 要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを事前に説明しているか。	○	○	○	○
(2) 精密検査の方法や内容について事前に説明しているか。	○	○	○	○
(3) 他の医療機関に精密検査を紹介した場合には、その結果を紹介元で把握することを事前に説明しているか。	○	○	○	○
(4) 検診結果（精密検査結果を含む）を市町村、検診機関、精密検査機関が把握（照会）することについて、また個人情報の取り扱い、守秘義務などについて、事前に説明しているか。	○	○	○	○
(5) 検診の有効性・限界について事前に説明しているか。 説明例：「がんがあっても陰性となってしまうことがあります。結果が異常なしであっても、翌年また検診を受けましょう。また、検診受診後にこれまでにない自覚症状が現れた場合には、医療機関で診察および検査を受けて下さい」など	○	○	○	○

「④回答できない」と回答した場合は、その理由を具体的にお書きください。

2. 問診及び撮影の精度管理

	①実施して ②実施して ③わからない ④回答			
	いる	いない		できない
(1) 検診項目は、問診及び胃部エックス線検査としているか。	0	0	0	0
(2) 問診は現在の病状、既往歴、家族歴、過去の検診の受診状況等を聴取しているか。	0	0	0	0
(3) 問診記録は少なくとも5年間は保存しているか。	0	0	0	0
(4) 撮影機器の種類（直接・間接・DR撮影、イメージ・インテンシファイア（I.I.）方式等）※を仕様書で明らかにしているか。 ※原則として、間接撮影で10×10cm以上のフィルムでI.I.方式かDR撮影とする。	0	0	0	0
(5) 撮影枚数は最低8枚としているか。	0	0	0	0
(6) 撮影の体位及び方法は日本消化器がん検診学会の方式（変法も含む）※によるものとしているか。 ※新・撮影法・変法、直接撮影法、DR(Digital Radiography)及びFPD(Flat Panel Detector)による撮影法は、日本消化器がん検診学会発行、新・胃X線撮影法ガイドライン改訂版(2011)を参照	0	0	0	0
(7) 造影剤の使用に当たっては、その濃度を適切（180～220W/V%の高濃度バリウム、120～150mlとする）に保つとともに、副作用等の事故に注意しているか。	0	0	0	0
(8) 撮影技師は、日本消化器がん検診学会が認定する胃がん検診専門技師の資格を習得しているか。	0	0	0	0
(9) 撮影技師の全数と、日本消化器がん検診学会認定技師数を都道府県（あるいは市町村や医師会）等の求めに応じて報告できるか。	0	0	0	0

「④回答できない」と回答した場合は、その理由を具体的にお書きください。

3. 読影の精度管理

	①実施して いる	②実施して いない	③わからない	④回答 できない
(1) 読影医全数と日本消化器がん検診学会認定医数を、都道府県等の求めに応じて報告できるか。	0	0	0	0
(2) 読影は二重読影とし、原則として判定医の1名は日本消化器がん検診学会認定医であるか。必要に応じて過去に撮影したエックス線写真と比較読影しているか。 解説：所属先医師会あるいは市町村等が実施している場合は「①実施している」とする。	0	0	0	0
(3) エックス線写真は少なくとも3年間は保存しているか。	0	0	0	0
(4) 検診結果は少なくとも5年間は保存しているか。	0	0	0	0

「④回答できない」と回答した場合は、その理由を具体的にお書きください。

4. システムとしての精度管理

①実施して ②実施して ③わからない ④回答
 いる いない できない

- (1) 精密検査結果及び治療結果※の報告を、精密検査機関（あるいは市町村、医師会等）から受けているか。
 ※内視鏡診断や生検結果、内視鏡治療または外科手術所見と病理組織検査結果など
- (2) 受診者への通知・説明、又はそのための市町村への結果報告は、検診受診後4週間以内になされているか。
- (3) 読影向上のための検討会や委員会（外部の胃がん専門家※を交えた会）を設置しているか。
 ※当該検診機関に雇用されていない胃がん検診専門家
 解説：所属先医師会や市町村等が設置した会への参加でも可
- (4) チェックリストに基づく検討を実施しているか。
 解説：チェックリストの項目（この調査票記載の項目のこと）の達成状況を確認し、改善に向けた検討を行なっているか。
- (5) 市町村へのがん検診の集計・報告は、地域保健・健康増進事業報告に必要な項目で集計しているか。
 解説：個人の受診結果報告書等をそのまま提出する場合は、市町村から求められた情報が報告書に全て含まれていること。
- (6) 都道府県がプロセス指標（受診率、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度）に基づく検討ができるようデータを提出しているか。
 解説：個人の受診結果報告書等をそのまま提出する場合は、市町村から求められた情報が報告書に全て含まれていること。

「④回答できない」と回答した場合は、その理由を具体的にお書きください。

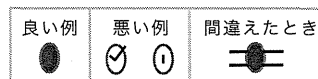
自治体名（市区町村名）	医療機関 / 検診機関名	メールアドレス
担当者名	TEL	FAX

質問は以上です。記入漏れがないかをご確認の上、同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函して下さい。

ご協力ありがとうございました。

肺がん検診の実施体制について、貴施設に当てはまる状況を以下それぞれの設問に沿って下の①～④から1つ選び○の中を塗りつぶしてください。

記入方法：黒色のペンまたは鉛筆で、○の中を正確に塗りつぶしてください。



- ① 「実施している」：貴施設、もしくは外部機関※と協力して実施している場合。
(必ず外部機関に実施状況を確認して回答して下さい)
- ② 「実施していない」：貴施設、もしくは外部機関※のいずれも実施していない場合。
(必ず外部機関に実施状況を確認して回答して下さい)
- ③ 「わからない」：貴施設、もしくは外部機関※の実施状況を調査しても、実施の有無が確認できなかった場合。
(必ず調査をしてから回答して下さい)
- ④ 「回答できない」：設問の意味が分からない、あるいは設問の記述の曖昧さ等により、実施の有無が判断できない場合。

※外部機関：医師会、自治体（市町村、都道府県）、対がん協会等の専門機関

1. 受診者への説明

解説：(1)-(6)はいずれも、チラシ等、持ち帰れる方法で受診者全員に個別に行われている場合のみ、「①実施している」とし、ポスターや問診票など、受診者が持ち帰れない場合には、「②実施していない」とする。
市町村や医師会との共同実施（例：市町村や医師会が作成したものを配布するなど）の場合も「①実施している」とする。

	①実施している	②実施していない	③わからない	④回答できない
(1) 要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを事前に説明しているか。	○	○	○	○
(2) 精密検査の方法や内容について事前に説明しているか。	○	○	○	○
(3) 他の医療機関に精密検査を紹介した場合には、その結果を紹介元で把握することを事前に説明しているか。	○	○	○	○
(4) 検診結果（精密検査結果を含む）を市町村、検診機関、精密検査機関が把握（照会）することについて、また個人情報の取り扱い、守秘義務などについて、事前に説明しているか。	○	○	○	○
(5) 禁煙及び防煙指導等、肺がんに関する正しい知識の啓発普及を行っているか。	○	○	○	○
(6) 検診の有効性・限界について事前に説明しているか。 説明例：「がんがあっても陰性となってしまうことがあります。結果が異常なしであっても、翌年また検診を受けましょう。また、検診受診後にこれまでにない自覚症状が現れた場合には、医療機関で診察および検査を受けて下さい」など	○	○	○	○

「④回答できない」と回答した場合は、その理由を具体的にお書きください。

2. 質問（問診）及び撮影の精度管理（1/2）

①実施して ②実施して ③わからない ④回答
 いる いない できない

(1) 検診項目は、質問（医師が自ら対面で行う場合は問診）※、胸部エックス線検査、及び質問の結果、原則として50歳以上で喫煙指数（1日本数×年数）が600以上だった者（過去における喫煙者を含む）への喀痰細胞診としているか。

0 0 0 0

※質問は必ずしも対面による聴取で実施する必要はなく、受診者に自記式の質問用紙を記載させることをもって代えることができる。

(2) 質問（問診）では喫煙歴、職歴、妊娠の可能性の有無を必ず聴取し、かつ、過去の検診の受診状況等を聴取しているか。また最近6か月以内の血痰など自覚症状のある場合には、検診ではなくすみやかに専門機関を受診し、精査を行うように勧めているか。

0 0 0 0

(3) 質問（問診）記録は少なくとも5年間は保存しているか。

0 0 0 0

(4) 肺がん診断に適格な胸部エックス線撮影※を行っているか。

※日本肺癌学会編集、肺癌取り扱い規約改訂第7版より：背腹一方向撮影1枚による場合、適格な胸部エックス線写真とは、肺尖、肺野外側縁、横隔膜、肋骨横隔膜角などを含むように正しく位置づけられ、適度な濃度とコントラストおよび良好な鮮鋭度をもち、中心陰影に重なった気管、主気管支の透亮像ならびに心陰影及び横隔膜に重なった肺血管が観察できるもの

0 0 0 0

(5) 撮影機器の種類（直接・間接撮影、デジタル方式）、フィルムサイズを明らかにしているか※。

※撮影法：日本肺癌学会編集、肺癌取り扱い規約 改訂第7版より

1：間接撮影の場合は、100mm ミラーカメラと、定格出力150kV以上の撮影装置を用いて120kV以上の管電圧により撮影する。やむを得ず定格出力125kVの撮影装置を用いる場合は、110kV以上の管電圧による撮影を行い縦隔部の感度を肺野部に対して高めるため、希土類（グラデーション型）蛍光板を用いる。定格出力125kV未満の撮影装置は用いない

0 0 0 0

2：直接撮影の場合は、被検者一管球間距離を1.5m以上とし、定格出力150kV以上の撮影装置を用い、120kV以上の管電圧及び希土類システム（希土類増感紙+オルソタイプフィルム）による撮影がよい。やむを得ず100～120kVの管電圧で撮影する場合も、被曝軽減のために希土類システム（希土類増感紙+オルソタイプフィルム）を用いる

3：CRの場合は、120kV以上の管電圧及び散乱線除去用格子比12:1以上を使用して撮影し、適切な階調処理、周波数処理、ダイナミックレンジ圧縮処理などを施した画像として出力する事が望ましい

(6) 1日あたりの実施可能人数を仕様書で明らかにしているか。

0 0 0 0

2. 質問（問診）及び撮影の精度管理（2/2）

解説：(7)-(11) を医師の立会いのもとに実施している場合には「④回答できない」とし、その旨を自由回答欄に記載する。

①実施して
いる

②実施して
いない

③わからない

④回答
できない

(7) <u>医師の立会い</u> なく胸部 エックス線検査を実施する場合、事前に胸部エックス線写真撮影を行う診療放射線技師に対して指示をする責任医師及び緊急時や必要時に対応する医師などを明示した計画書を作成し、市町村に提出しているか。	0	0	0	0
解説：所属する医師会あるいは市町村等が作成している場合は可				
(8) <u>医師の立会い</u> なく胸部エックス線検査を実施する場合、緊急時や必要時に医師に連絡できる体制を整備しているか。	0	0	0	0
(9) <u>医師の立会い</u> なく胸部エックス線検査を実施する場合、胸部エックス線写真撮影時や緊急時のマニュアルを整備しているか。	0	0	0	0
(10) <u>医師の立会い</u> なく胸部 エックス線検査を実施する場合、胸部エックス線検査に係る必要な機器及び設備を整備するとともに、機器の日常点検等の管理体制を整備しているか。	0	0	0	0
(11) <u>医師の立会い</u> なく胸部 エックス線検査を実施する場合、検診に従事する診療放射線技師が必要な教育・研修を受ける機会を確保しているか。	0	0	0	0

「④回答できない」と回答した場合は、その理由を具体的にお書きください。

3. 読影の精度管理

	①実施して いる	②実施して いない	③わからない	④回答 できない
(1) 2名以上の医師によって読影し、うち一人は十分な経験を有した呼吸器科 または放射線科の医師を含めているか。	0	0	0	0
(2) 2名のうちどちらかが「要比較読影」としたものは、過去に撮影した胸部 エックス線写真と比較読影しているか。 解説：所属先医師会あるいは市町村等が実施している場合は可	0	0	0	0
(3) 比較読影した症例数を報告しているか。 解説：所属先医師会あるいは市町村等が実施している場合は可	0	0	0	0
(4) エックス線写真は少なくとも3年間は保存しているか。	0	0	0	0
(5) エックス線検査結果は少なくとも5年間は保存しているか。	0	0	0	0

「④回答できない」と回答した場合は、その理由を具体的にお書きください。

4. 喀痰細胞診の精度管理

(自施設以外で行われる項目については、その施設での実施状況を確認し、回答して下さい)

	①実施して いる	②実施して いない	③わからない	④回答 できない
(1) 喀痰細胞診は、原則 50 歳以上で喫煙指数 (1 日本数×年数) 600 以上の者に対し行っているか。	0	0	0	0
(2) 細胞診の業務を委託する場合は、その委託機関 (施設名) を仕様書に明記しているか。	0	0	0	0
(3) 採取した喀痰は、2 枚のスライドに塗抹し、湿固定の上、パパニコロウ染色を行っているか。	0	0	0	0
(4) 固定標本の顕微鏡検査は、日本臨床細胞学会の認定を受けた細胞診専門医と細胞検査士が連携して行っているか※。 ※日本臨床細胞学会 細胞診精度管理ガイドライン参照	0	0	0	0
(5) がん発見例は、過去の細胞所見の見直しを行っているか。	0	0	0	0
(6) 標本は少なくとも 3 年間は保存しているか。	0	0	0	0
(7) 喀痰細胞診検査結果は少なくとも 5 年間は保存しているか。	0	0	0	0

「④回答できない」と回答した場合は、その理由を具体的にお書きください。

5. システムとしての精度管理

	①実施して いる	②実施して いない	③わからない	④回答 できない
(1) 精密検査結果及び治療※結果の報告を、精密検査機関（あるいは市町村、医師会等）から受けているか。 ※組織や病期把握のための治療など	0	0	0	0
(2) 受診者への通知・説明、またはそのための市町村への結果報告は、検診受診後4週間以内になされているか。	0	0	0	0
(3) 読影向上のための検討会や委員会（外部の肺がん専門家※を交えた会）を設置しているか。 ※当該検診機関に雇用されていない肺がん検診専門家。 解説：所属先医師会や市町村等が設置した会への参加でも可	0	0	0	0
(4) チェックリストに基づく検討を実施しているか。 解説：チェックリストの項目（この調査票記載の項目のこと）の達成状況を確認し、改善に向けた検討を行なっているか。	0	0	0	0
(5) 市町村へのがん検診の集計・報告は、地域保健・健康増進事業報告に必要な項目で集計しているか。 解説：個人の受診結果報告書等をそのまま提出する場合は、市町村から求められた情報が報告書に全て含まれていること。	0	0	0	0
(6) 都道府県がプロセス指標（受診率、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度）に基づく検討ができるようデータを提出しているか。 解説：個人の受診結果報告書等をそのまま提出する場合は、市町村から求められた情報が報告書に全て含まれていること。	0	0	0	0

「④回答できない」と回答した場合は、その理由を具体的にお書きください。

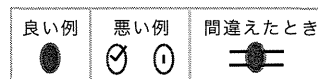
自治体名（市区町村名）	医療機関 / 検診機関名	メールアドレス
担当者名	TEL	FAX

質問は以上です。記入漏れがないかをご確認の上、同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函して下さい。

ご協力ありがとうございました。

大腸がん検診の実施体制について、貴施設に当てはまる状況を以下それぞれの設問に沿って下の①～④から1つ選び○の中を塗りつぶしてください。

記入方法：黒色のペンまたは鉛筆で、○の中を正確に塗りつぶしてください。



- ① 「実施している」：貴施設、もしくは外部機関※と協力して実施している場合。
(必ず外部機関に実施状況を確認して回答して下さい)
- ② 「実施していない」：貴施設、もしくは外部機関※のいずれも実施していない場合。
(必ず外部機関に実施状況を確認して回答して下さい)
- ③ 「わからない」：貴施設、もしくは外部機関※の実施状況を調査しても、実施の有無が確認できなかった場合。
(必ず調査をしてから回答して下さい)
- ④ 「回答できない」：設問の意味が分からない、あるいは設問の記述の曖昧さ等により、実施の有無が判断できない場合。

※外部機関：医師会、自治体（市町村、都道府県）、対がん協会等の専門機関

1. 受診者への説明

解説：(1)-(5) はいずれも、チラシ等、持ち帰れる方法で受診者全員に個別に行われている場合のみ、「①実施している」とし、ポスターや問診票など、受診者が持ち帰れない場合には、「②実施していない」とする。
市町村や医師会との共同実施（例、市町村や医師会が作成したものを配布するなど）の場合も「①実施している」とする。

	①実施している	②実施していない	③わからない	④回答できない
(1) 便潜血検査陽性で要精密検査となった場合には、必ず精密検査（大腸内視鏡検査または注腸エックス線検査）を受ける必要があることを事前に説明しているか。	○	○	○	○
(2) 精密検査（大腸内視鏡検査または注腸エックス線検査）の方法や内容について事前に説明しているか。	○	○	○	○
(3) 他の医療機関に精密検査を紹介した場合には、その結果を紹介元で把握することを事前に説明しているか。	○	○	○	○
(4) 検診結果（精密検査結果を含む）を市町村、検診機関、精密検査機関が把握（照会）することについて、また個人情報の取り扱い、守秘義務などについて、事前に説明しているか。	○	○	○	○
(5) 検診の有効性・限界について事前に説明しているか。 説明例：「がんがあっても陰性となってしまうことがあります。結果が異常なしであっても、翌年また検診を受けましょう。また、検診受診後にこれまでにない自覚症状が現れた場合には、医療機関で診察および検査を受けて下さい」など	○	○	○	○

「④回答できない」と回答した場合は、その理由を具体的にお書きください。

2. 検査の精度管理

(自施設以外で行われる項目については、その施設での実施状況を確認し、回答して下さい)

	①実施して いる	②実施して いない	③わからない	④回答 できない
(1) 臨床検査技師のために技術講習会や研修会などを定期的を開催しているか。 解説：臨床検査技師を便潜血検査や大腸がん検診に関連した学会や研究会に、定期的に参加させている場合は、「①実施している」とする。 臨床検査技師がない施設においては、実際に検査を行う医療スタッフへの教育体制が整っていれば「①実施している」とする。	0	0	0	0
(2) 検査は、便潜血検査 2 日法を行っているか。	0	0	0	0
(3) 便潜血検査キットの測定法（キット名）を、都道府県（あるいは市町村や医師会）等の求めに応じて報告できるか。	0	0	0	0
(4) 便潜血検査の方法（用手法か、又は自動分析装置法か）を、都道府県（あるいは市町村や医師会）等の求めに応じて報告できるか。	0	0	0	0
(5) 用手法の場合は検出感度（ng/mL 及び μ g/g 便）、自動分析法の場合はカットオフ値（ng/mL 及び μ g/g 便）を都道府県（あるいは市町村や医師会）等の求めに応じて報告できるか。	0	0	0	0
(6) 大腸がん検診マニュアル（2013 年日本消化器がん検診学会刊行）に記載された方法に準拠して行っているか。 解説：具体的には測定原理により様々なキットがあり、判定は機械による比色定量の他に目視判定がある。キットの使用期限を守ると共に、日々、機器および測定系の精度管理に務めなければならない。	0	0	0	0

「④回答できない」と回答した場合は、その理由を具体的にお書きください。

3. 検体の取り扱い

(自施設以外で行われる項目については、その施設での実施状況を確認し、回答して下さい)

	①実施して いる	②実施して いない	③わからない	④回答 できない
(1) 採便方法についてチラシやリーフレット等を用いて受診者に説明しているか。	0	0	0	0
(2) 採便後即日(2日目)回収を原則としているか 解説：離島や遠隔地の場合は、採便後即日(2日目)回収でなくとも「①実施している」とする。	0	0	0	0
(3) 採便後は検体を冷蔵庫あるいは冷所に保存するよう受診者に指導しているか。	0	0	0	0
(4) 受診者から検体を回収してから自施設で検査を行うまでの間あるいは検査施設へ引き渡すまでの間、冷蔵保存しているか。	0	0	0	0
(5) 検査施設では検体を受領後冷蔵保存しているか。	0	0	0	0
(6) 検体受領後原則として24時間以内に測定しているか (検査機器の不調、検査提出数が想定以上に多かった場合を除く)。	0	0	0	0
(7) 検診結果は少なくとも3年間から5年間は保存しているか。	0	0	0	0
(8) 定量法で便潜血検査をした場合は定量値を記録し、都道府県・市町村の要請に応じて報告できるか。	0	0	0	0

「④回答できない」と回答した場合は、その理由を具体的にお書きください。

4. システムとしての精度管理

①実施して
いる

②実施して
いない

③わからない

④回答
できない

(1) 受診者への通知・説明、またはそのための市町村への結果報告は、検診受診後 4 週間以内になされているか。

0 0 0 0

(2) 精密検査結果及び治療結果※の報告を、精密検査機関（あるいは市町村、医師会等）から受けているか。

0 0 0 0

※内視鏡診断や生検結果、内視鏡治療または外科手術所見と病理組織検査結果など

(3) チェックリストに基づく検討を実施しているか。

解説：チェックリストの項目（この調査票記載の項目のこと）の達成状況を確認し、改善に向けた検討を行なっているか。

0 0 0 0

(4) 市町村へのがん検診の集計・報告は、地域保健・健康増進事業報告に必要な項目で集計しているか。

0 0 0 0

解説：個人の受診結果報告書等をそのまま提出する場合は、市町村から求められた情報が報告書に全て含まれていること

(5) 都道府県がプロセス指標（受診率、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度）に基づく検討ができるようデータを提出しているか。

0 0 0 0

解説：個人の受診結果報告書等をそのまま提出する場合は、市町村から求められた情報が報告書に全て含まれていること

「④回答できない」と回答した場合は、その理由を具体的にお書きください。

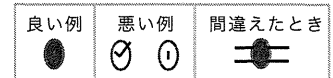
自治体名（市区町村名）	医療機関 / 検診機関名	メールアドレス
担当者名	TEL	FAX

質問は以上です。記入漏れがないかをご確認の上、同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函して下さい。

ご協力ありがとうございました。

乳がん検診の実施体制について、貴施設に当てはまる状況を以下それぞれの設問に沿って下の①～④から1つ選び○の中を塗りつぶしてください。

記入方法：黒色のペンまたは鉛筆で、○の中を正確に塗りつぶしてください。



- ① 「実施している」：貴施設、もしくは外部機関※と協力して実施している場合。
(必ず外部機関に実施状況を確認して回答して下さい)
- ② 「実施していない」：貴施設、もしくは外部機関※のいずれも実施していない場合。
(必ず外部機関に実施状況を確認して回答して下さい)
- ③ 「わからない」：貴施設、もしくは外部機関※の実施状況を調査しても、実施の有無が確認できなかった場合。
(必ず調査をしてから回答して下さい)
- ④ 「回答できない」：設問の意味が分からない、あるいは設問の記述の曖昧さ等により、実施の有無が判断できない場合。

※外部機関：医師会、自治体（市町村、都道府県）、対がん協会等の専門機関

1. 受診者への説明

解説：(1)-(5)はいずれも、チラシ等、持ち帰れる方法で受診者全員に個別に行われている場合のみ、「①実施している」とし、ポスターや問診票など、受診者が持ち帰れない場合には、「②実施していない」とする。市町村や医師会との共同実施（例：市町村や医師会が作成したものを配布するなど）の場合も「①実施している」とする。

	①実施している	②実施していない	③わからない	④回答できない
(1) 要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを事前に説明しているか。 解説：例）マンモグラフィによる乳がん検診の手引き第5版105頁参照	○	○	○	○
(2) 精密検査の方法や内容について事前に説明しているか。 解説：例）マンモグラフィによる乳がん検診の手引き第5版105頁参照	○	○	○	○
(3) 他の医療機関に精密検査を紹介した場合には、その結果を紹介元で把握することを事前に説明しているか。	○	○	○	○
(4) 検診結果（精密検査結果を含む）を市町村、検診機関、精密検査機関が把握（照会）することについて、また個人情報の取り扱い、守秘義務などについて、事前に説明しているか。	○	○	○	○
(5) 検診の有効性・限界について事前に説明しているか。 説明例：「がんがあっても陰性となってしまうことがあります。結果が異常なものであっても、2年後また検診を受けましょう。また、検診受診後にこれまででない自覚症状が現れた場合には、医療機関で診察および検査を受けて下さい」など	○	○	○	○

「④回答できない」と回答した場合は、その理由を具体的にお書きください。

2. 問診及び撮影の精度管理

	①実施して いる	②実施して いない	③わからない	④回答 できない
(1) 検診項目は、問診、乳房エックス線検査（マンモグラフィ）ならびに視触診としているか※。 ※但し視触診は必須としない	0	0	0	0
(2) 乳房エックス線撮影装置が日本医学放射線学会の定める仕様基準※を満たしているか。 ※マンモグラフィによる乳がん検診の手引き第5版、マンモグラフィガイドライン第3版参照	0	0	0	0
(3) 40歳以上50歳未満の受診者に対しては、内外斜位方向・頭尾方向の2方向を撮影しているか。	0	0	0	0
(4) 乳房エックス線撮影における線量および写真の画質について、外部の評価をうけているか。 解説：日本乳がん検診精度管理中央機構（旧マンモグラフィ検診精度管理中央委員会）の行う施設画像評価にてAまたはBを取得していれば「①実施している」とし、評価CまたはD、施設画像評価を受けていなければ「②実施していない」とする。	0	0	0	0
(5) 撮影技師は乳房エックス線撮影に関する適切な研修※を修了しているか。 ※乳房エックス線撮影、読影及び精度管理に関する基本講習プログラムに準じた講習会・日本乳がん検診精度管理中央機構（旧マンモグラフィ検診精度管理中央委員会）の教育・研修委員会の行う講習会等を指す。なお、これまで実施された「マンモグラフィ検診の実施と精度向上に関する調査研究」班、「マンモグラフィによる乳がん検診の推進と精度向上に関する調査研究」班及び日本放射線技術学会乳房撮影ガイドライン・精度管理普及班による講習会等を含む 解説：※の講習会を受講し、AまたはBの評価を得ていれば「①実施している」とし、CまたはD評価、講習会未受講であれば「②実施していない」とする。	0	0	0	0

「④回答できない」と回答した場合は、その理由を具体的にお書きください。

3. 読影の精度管理

①実施して ②実施して ③わからない ④回答
 いる いない できない

(1) 読影は二重読影を行い、読影に従事する医師のうち少なくとも一人は乳房エックス線写真読影に関する適切な研修※を修了し、AまたはBの評価を得ているか。

※乳房エックス線撮影、読影及び精度管理に関する基本講習プログラムに準じた講習会・日本乳がん検診精度管理中央機構(旧マンモグラフィ検診精度管理中央委員会)の教育・研修委員会の行う講習会等を指す。なお、これまで実施された「マンモグラフィ検診の実施と精度向上に関する調査研究」班、「マンモグラフィによる乳がん検診の推進と精度向上に関する調査研究」班及び日本放射線技術学会乳房撮影ガイドライン・精度管理普及班による講習会等を含む

0 0 0 0

解説：※の講習会を受講し、AまたはBの評価を得ていれば「①実施している」とし、CまたはD評価、講習会未受講であれば「②実施していない」とする。

(2) 二重読影の所見に応じて、過去に撮影した乳房エックス線写真と比較読影しているか。

0 0 0 0

解説：所属先医師会あるいは市町村等が実施している場合は可

(3) エックス線写真は少なくとも3年間は保存しているか。

0 0 0 0

(4) 問診記録・検診結果は少なくとも5年間は保存しているか。

0 0 0 0

「④回答できない」と回答した場合は、その理由を具体的にお書きください。

4. システムとしての精度管理

①実施して ②実施して ③わからない ④回答
 いる いない できない

(1) 精密検査結果及び組織型・病期の報告を、精密検査機関（あるいは市町村、医師会等）から受けているか。

解説：組織型（特に非浸潤癌か否か）、病期を含む報告を受けていれば「①実施している」とし、単なる癌か否かの報告であれば「②実施していない」とする。

0 0 0 0

(2) 受診者への通知・説明、またはそのための市町村への結果報告は、検診受診後4週間以内になされているか。

0 0 0 0

(3) 診断のための検討会や委員会（外部の乳がん専門家※を交えた会）を設置しているか。

※当該検診機関に雇用されていない乳がん検診専門家。

解説：施設内での症例検討会、精度管理委員会などを意味する。施設内の設置が困難な施設では、市町村等が行う検診発見癌の検討会等へ参加している場合は「①実施している」とする。

0 0 0 0

(4) チェックリストに基づく検討を実施しているか。

解説：チェックリストの項目（この調査票記載の項目のこと）の達成状況を確認し、改善に向けた検討を行なっているか。

0 0 0 0

(5) 市町村へのがん検診の集計・報告は、地域保健・健康増進事業報告に必要な項目で集計しているか。

解説：個人の受診結果報告書等をそのまま提出する場合は、市町村から求められた情報が報告書に全て含まれていること。

0 0 0 0

(6) 都道府県がプロセス指標（受診率、要精検率、精検受診率、がん発見率、陽性反応適中度）に基づく検討ができるようデータを提出しているか。

解説：個人の受診結果報告書等をそのまま提出する場合は、市町村から求められた情報が報告書に全て含まれていること。

0 0 0 0

「④回答できない」と回答した場合は、その理由を具体的にお書きください。

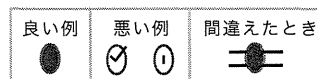
自治体名（市区町村名）	医療機関 / 検診機関名	メールアドレス
担当者名	TEL	FAX

質問は以上です。記入漏れがないかをご確認の上、同封の返信用封筒に入れ、ポストに投函して下さい。

ご協力ありがとうございました。

子宮頸がん検診の実施体制について、貴施設に当てはまる状況を以下それぞれの設問に沿って下の①～④から1つ選び○の中を塗りつぶしてください。

記入方法：黒色のペンまたは鉛筆で、○の中を正確に塗りつぶしてください。



- ① 「実施している」：貴施設、もしくは外部機関※と協力して実施している場合。
(必ず外部機関に実施状況を確認して回答して下さい)
- ② 「実施していない」：貴施設、もしくは外部機関※のいずれも実施していない場合。
(必ず外部機関に実施状況を確認して回答して下さい)
- ③ 「わからない」：貴施設、もしくは外部機関※の実施状況を調査しても、実施の有無が確認できなかった場合。
(必ず調査をしてから回答して下さい)
- ④ 「回答できない」：設問の意味が分からない、あるいは設問の記述の曖昧さ等により、実施の有無が判断できない場合。

※外部機関：医師会、自治体（市町村、都道府県）、対がん協会等の専門機関

1. 受診者への説明

解説：(1)-(5)はいずれも、チラシ等、持ち帰れる方法で受診者全員に個別に行われている場合のみ、「①実施している」とし、ポスターや問診票など、受診者が持ち帰れない場合には、「②実施していない」とする。市町村や医師会との共同実施（例：市町村や医師会が作成したものを配布するなど）の場合も「①実施している」とする。

	①実施している	②実施していない	③わからない	④回答できない
(1) 要精密検査となった場合には、必ず精密検査を受ける必要があることを事前に説明しているか。	○	○	○	○
(2) 精密検査の方法や内容について事前に説明しているか。	○	○	○	○
(3) 他の医療機関に精密検査を紹介した場合には、その結果を紹介元で把握することを事前に説明しているか。	○	○	○	○
(4) 検診結果（精密検査結果を含む）を市町村、検診機関、精密検査機関が把握（照会）することについて、また個人情報取り扱い、守秘義務などについて、事前に説明しているか。	○	○	○	○
(5) 検診の有効性・限界について事前に説明しているか。 説明例：「がんがあっても陰性となってしまうことがあります。結果が異常なしであっても、2年後また検診を受けましょう。また、検診受診後にこれまでにない自覚症状が現れた場合には、医療機関で診察および検査を受けて下さい」など	○	○	○	○

「④回答できない」と回答した場合は、その理由を具体的にお書きください。

2. 問診・視診の精度管理

	①実施して いる	②実施して いない	③わからない	④回答 できない
(1) 検診項目としては、医師による子宮頸部の検体採取による細胞診を行っているか。	0	0	0	0
(2) 問診は、妊娠及び分娩歴、月経の状況、不正性器出血等の症状の有無、過去の検診受診状況等を聴取しているか。	0	0	0	0
(3) 問診の上、症状（体がんの症状を含む）のある者には、適切な医療機関への受診勧奨を行っているか。	0	0	0	0
(4) 問診記録は少なくとも5年間は保存しているか。	0	0	0	0
(5) 視診は腔鏡を挿入し、子宮頸部の状況を観察しているか。	0	0	0	0

「④回答できない」と回答した場合は、その理由を具体的にお書きください。